

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月12日(月)

事務事業		花植木公設地方卸売市場管理事業		担当課	農業振興課	担当係	特産係	管理番号	36351
総合計画	大項目	3 活力とにぎわいにあふれるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1 農業のブランドを高め伝えるまちづくり		根拠法令 個別計画等	卸売市場法 深谷市花植木公設地方卸売市場条例 深谷市花植木公設地方卸売市場条例施行規則				
	小項目	2 農畜産物の販売流通体制の充実							
	主要プロジェクト								
事業概要		花植木の円滑な需要調整を図り農業振興の発展に資することを目的として市が開設者となり市場を開設している。卸売業者である(株)埼玉県花植木流通センターに対して、施設の有償貸付を実施しており、施設の維持管理については開設者である市が行っている。							
目的 ※何のために		市場の適正な管理、運営のため。							
対象 ※誰・何を対象に		市場及び市場利用者							
手段 ※どのように		施設の維持管理を実施する。							
成果 ※何を求めるか		市場における事故等の発生もなく、適正な管理、運営を行う。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
		一般会計	6 農林水産業費	1 農業費	2 農業総務費	花植木公設地方卸売市場管理事業		300,418	
本事業の 主な業務		<ul style="list-style-type: none"> ・市場の維持管理 ・運営審議委員会庶務 ・使用料、買受人証に係る業務 ・花植木の振興に関する業務 ・ ・ 							

2. 事業費(投入コスト)

単位:円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
年度別計画		施設の維持管理	施設の維持管理 樹木害虫防除業務	施設の維持管理	施設の維持管理			
事業費	予算(現額)	2,398,000	625,000	760,000	792,000			
	決算額	2,036,918	300,418	0	0			
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		他特定財源	2,036,918	300,418	760,000	792,000		
一般財源	0	0	0	0				
人件費	従事職員数(人)	0.67	0.67	1.07	1.07			
	人件費相当試算※	5,200,483	5,272,603	8,770,134	8,770,134			
総事業費試算		7,237,401	5,573,021	9,530,134	9,562,134			

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
活動指標 1	即売場の開場日数	目標値	日	359.00	359.00	360.00	359.00	359.00	359.00
		実績値		359.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年末年始以外営業/市場条例による（年末年始以外）						
実績値の算出式									
活動指標 2	市場開催日数	目標値	件	59.00	59.00	59.00	59.00	59.00	59.00
		実績値		59.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		市場条例に定められている会場の期日を目標値として設定 / 当該年度の事業報告書による						
実績値の算出式									
活動指標 3	市場修繕件数	目標値	件						
		実績値		0.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		必要に応じて実施するため、目標値としての設定はしない / 当該年度の実績による						
実績値の算出式									
成果指標 1	施設管理上の事故発生件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		0.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		瑕疵による事故を発生させないことが適正なため、目標値を0として設定 / 施設からの報告による件数						
実績値の算出式									
成果指標 2	市場年間収入額	目標値	千円						
		実績値		3,354.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度毎に収入額が変動するため、目標値としての設定はしない / 当該年度の市場使用料						
実績値の算出式									
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	予定されていた市場も開催され、施設の管理も適正に行われた。 なお、市場開催日数については、卸売業者が(株)埼玉県花植木流通センター1社のみとなったため、その市場の開催日数となっている。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	市場内における事故等の発生及び確認もなく、施設の管理運営が適正に行われた。
			評価者 特産係長 荒木 守

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	施設の貸付を行っている(株)埼玉県花植木流通センターと連携を図りながら、施設の状況を把握し、市場内での事故等もなく、適正な管理が行えた。
			評価者 特産係長 荒木 守

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	花植木公設地方卸売市場管理事業	担当課	農業振興課	担当係	特産係	管理番号	36351
<input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入) <input type="checkbox"/> ②現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続 <input type="checkbox"/> ④目的達成による終了 <input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討		<input type="checkbox"/> 委託化等の検討 <input type="checkbox"/> 成果向上のための改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化のための改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の縮小 <input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合		評価の内容説明 市場の管理運営については、施設の貸付を行っている榑埼玉県花植木流通センターと連携を図りながら、事故等の発生もなく適正に実施できているが、今後は平成20年度の運営審議会の答申や平成22年の事業仕分けでの意見、令和5年に示された「第2次深谷市公共施設適正配置計画」の方針に基づき、市場の管理運営方法について検討していき、より効率的な管理運営としていく必要がある。			
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者		農業振興課長 前野 武一			

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	深谷市花植木公設地方卸売市場については、過去の運営審議会等において管理運営方法の見直し検討が求められている。また、社会情勢が大きく変化する中、市場の運営も柔軟な発想で創意工夫を加え、社会環境の変化、消費者ニーズに迅速に対応していく必要がある。そのため、運営審議会を開催し、市場の管理運営方法について審議していく。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	引き続き、運営審議会を開催し、管理運営方法について審議していくとともに、施設の貸付を行っている榑埼玉県花植木流通センターからも意見を伺っていく。

8. 評価指標グラフ

